

ふくふくファンド 2008 年度 助成事業報告書

年 月 日

団体名（ふりがな）	Anego（あねご）
事業名	団体紹介ツールの開発
連絡担当者お名前（ふりがな）	太田 貴（おおた たかし）
<p>助成金を使って行った事業について、記述してください。 （活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）</p> <p>団体紹介パンフレット（専門家・一般市民向け） A 4 裏表・三つ折のカラーパンフレットを 10,000 部作成。 内容は性的少数者の社会での可視化と、性的少数者と初めて接する人へのガイドに重点を置く。 表紙には、性的少数者の象徴である多様性を表す 6 色のレインボーカラーの T シャツを着た 6 名（ひとり 1 色）の笑顔の写真を掲載。モデルはブログ上などで公募し、多様性を表現するため、あらゆる性別・セクシャリティ（性的指向）・年代の人をそろえた。性的少数者の可視化が狙いのパンフレットであるので、顔が見える写真を使用できた意義は大きい。パンフレットを開いたところに、その 6 名がジャンプしている写真を掲載。少数者が社会へ飛び出すことをイメージした。 公共施設やイベント会場などで配布開始。宮城県内の中学・高校・専門学校・大学、医療機関へ配布を予定している。</p> <p>団体紹介カード（当事者向け） A 6 裏表カラーのカードを 10,000 部作成。 内容は孤立しがちな当事者へ向けた「ひとりではない」というメッセージと、当事者向け情報提供サイトの告知。 宮城県内の学校での配布と、団体の活動に理解・協力を得ている映画館、ショップと、あわせて当事者が利用する商業施設やサークル、イベントなどでも配布中。</p>	

助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)

パンフレット外面 (実際には3つ折りになります)




Anegoは、あらゆるセクシャリティ (性的指向) の人が尊重されることをめざし、次の活動を行います。

セクシャリティへの理解を深める活動
セクシャリティ・フリーで集まれる場の提供

セクシャリティについての悩みを相談できる機会の提供

自分を大切に心育の育成

あらゆるセクシャリティを尊重する活動の応援

団体概要

■名称 Anego (アネゴと読む)
Anti-Normalistic Educational Gender-free Organization の略
「普通」という名のもとに少数者を排除することに反対する、教育的で、性別にこだわらない組織という意味を持たせた造語です。

■設立 2007年4月1日

■組織 法人格を持たない民間非営利組織 (いわゆるNPO)
運営に携わるコアメンバーと活動を支えるメンバーからなる

■活動拠点 宮城県仙台市を中心に活動

■連絡先
〒980-0811
仙台市青葉区一番町4丁目1-3
仙台市市民活動サポートセンター レターケース No.26
E-mail anegosendai@yahoo.co.jp
FAX 022-268-4042 [No.26 Anego と明記]

■団体ブログ
<http://blog.canpan.info/aneago/>

■当事者向け情報提供ブログ
<http://blogs.yahoo.co.jp/aneagosendai/>




あらゆるセクシャリティ (性的指向) の人が尊重される未来へ。

<http://blog.canpan.info/aneago/>

このパンフレットは「ふくふくファンド 2008年度助成事業」により作成しました。

パンフレット内面

性的少数者は、あなたの周りにもいます。

けれども、普段の生活で出会うことは少ない存在です。

なぜなら、社会には、性的少数者に対する差別や偏見があるからです。

性的少数者の多くは、家庭で、学校で、職場で、自分が性的少数者であることを打ち明けられずにいるのです。

だから性的少数者は、孤立しがちです。

自殺未遂の経験率は7人に1人。
(インターネット調査 REACH Online2007より)

少数者ゆえの生きにくさ、そこにあります。

セクシャリティ (性的指向) は自分で選べるものではありません。だから、同性愛者も、両性愛者も、性同一性障害の人も、半陰陽の人も、異性愛者も、その他の人も、誰もが尊重される社会を **Anego** はめざします。

Anego の取り組み

展示やイベントで性的少数者を可視化!

セクシャリティの理解を深めて性的少数者に対する差別・偏見のない社会に!

ひとりじゃないって思えるように。

自分のことを大切にできるように。

あらゆるセクシャリティの人が尊重されるように手をとりあっていく。

性的少数者とは、多数派の異性愛者とは異なる、同性愛者、両性愛者、性同一性障害の人などを指します。人口の3~5%つまり20~30人に1人の割合で存在する言われています。

例

展示「Anego's Valentine」
あらゆるセクシャリティの人の愛のメッセージを展示することで、性的少数者の可視化をはかり、愛の多様性を伝えます。

ドラァグ・ユニット「Anego Girls」
ドラァグとは、過度な女らしさを体現し、ジェンダーを笑い飛ばしてしまうパフォーマンス。そんなドラァグ・パフォーマーをイベントなどへ派遣します。

学習会、講演会
セクシャリティに関連した、あらゆるテーマで随時開催。講師派遣にも応じます。

多様性を感じる Anego Tea Party
性別もセクシャリティも関係なく誰でも参加できる Tea Party です。自身のセクシャリティについては、開示しなくても本人の自由です。多様な人の中で、ほっとできるひと時を提供します。

Anego blog for LGBT
性的少数者向けに情報提供をしているブログです。イベント情報から、性的少数者フレンドリーなお店の紹介まで、性的少数者に役立つ情報を提供しています。
<http://blogs.yahoo.co.jp/aneagosendai/>

LGBTとは、Lesbian (レズビアン：女性同性愛者)、Gay (ゲイ：男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシャル：両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー：体と心の性が不一致な人)の頭文字で、性的少数者の総称として使われています。
※レス、ホモ、オカマといった呼称は、差別的な表現ですので注意しましょう。

助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)

カード表面



カード裏面

あらゆるセクシャリティ（性的指向）の人が尊重されることを目指して、仙台を中心に活動しているグループです。セクシャリティや性別、国籍、年齢などは一切問わずに誰でも参加できます。同性愛者や性同一性障害の人など、性的少数者と言われる人たちは、少数者ゆえ、「自分がまわりのみんなと違う」と気づいたときに、悩んだり、孤独を感じることも多々あります。けれども、性的少数者の割合は 20~30 人に 1 人。決して周りにいない数ではありません。そして、性的少数者にフレンドリーな異性愛者もたくさんいます。*Anego* ではそんなことを感じられるところをみんなと一緒につくっていかれたらと思っています。まずは blog をチェックしてみてください。

■発足

2007 年 4 月 1 日

■連絡先

〒980-0811

仙台市青葉区一番町 4 丁目 1-3

仙台市市民活動サポートセンター

レターケース No.26 Anego

anegosendai@yahoo.co.jp

■mixi コミュニティ

名称 Anego ID 2014285

■Anego blog for LGBT

LGBT（性的少数者）向け情報 blog

<http://blogs.yahoo.co.jp/anegosendai>

QR コード→



LGBT とは Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender の頭文字からとった性的少数者を意味する言葉です。

このカードは「ふくふくファンド2008年度助成事業」で作成しました。

今回の事業によって、団体全体の活動にどのような成果・効果がありましたか

まだ一部で配布を開始しただけだが、新しいパンフレットは非常に好評を得ている。今後、団体の活動を広めていく上で、必要不可欠なツールとなった。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか

今回の事業で団体紹介ツールが完備されたので、積極的に広報をしていく。まずは、県内の全学校への配布を計画している。2009 年度予算にて、その郵送費を捻出すべく検討している。

また、団体の概要を説明するパンフレット、カードができたので、随時、生の活動をや情報を届けるブログでの発信を強化し、活動が見えるようにしていきたい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ファンド助成金	100,000	
団体負担金	3,715	
合計	103,715	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
印刷代	98,780	A4両面カラー3つ折り×10,000部（送料込み） =58,880円 A6両面カラー×10,000部（送料込み）=39,990円
雑費	4,935	パンフレット写真撮影用Tシャツ×6枚（送料込み） =4,935円
合計	103,715	

宮城県労働者福祉協議会様へのメッセージをどうぞ。

おかげさまで、パンフレット1万部、カード1万部のあわせて2万部の団体紹介ツールができました。今後は、この団体紹介ツールをフル活用して、あらゆるセクシャリティ（性的指向）の人が尊重される社会の実現へ向けて活動を発展させていきたいと思いをします。

特に、学校への配布に力を入れることで、教育の現場での性的少数者への理解促進をはかり、誰にも相談できずに悩んでいる思春期の性的少数者が、安心できる環境づくりを目指します。

ご支援いただき、ありがとうございました。

これからも、誰もが尊重される社会をめざして活動に励んでいきたいと思いをします。